

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分
 【発行日】平成28年8月25日(2016.8.25)

【公表番号】特表2015-524538(P2015-524538A)
 【公表日】平成27年8月24日(2015.8.24)
 【年通号数】公開・登録公報2015-053
 【出願番号】特願2015-525932(P2015-525932)
 【国際特許分類】

F 0 1 L 7/02 (2006.01)

F 0 2 B 23/08 (2006.01)

【F I】

F 0 1 L 7/02 A

F 0 2 B 23/08 X

【手続補正書】
 【提出日】平成28年7月6日(2016.7.6)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

クランクシャフトに接続されてシリンダー内で往復動可能なピストンと、該ピストンによって一部が画定される燃焼室と、シリンダーに対して固定されたバルブハウジング内で滑動するよう密着した状態で回転可能なロータリーバルブとを備え、該ロータリーバルブは、燃焼室を部分的に画定する容積部を含むバルブボディと、その壁部にポートを有し、該ポートは、バルブの回転中、バルブハウジングの吸排気ポートを介して燃焼室への及び燃焼室からの連続的な流体流通を生じさせ、バルブボディ及びバルブハウジングの基材はアルミニウムであり、ロータリーバルブのメインボディの表面とバルブハウジングの隣接表面との間でシール機能が達成されるとともに、そのシール機能の総てが、ロータリーバルブのボディ表面とバルブハウジングの表面との間でのみ達成され、ロータリーバルブ又はバルブハウジング内に組み込まれた追加の密封装置が存在しない、ロータリーバルブ内燃エンジン。

【請求項 2】

前記アルミニウムは、最大 5 % の銅含有量のアルミニウム合金である、請求項 1 に記載のロータリーバルブ内燃エンジン。

【請求項 3】

前記アルミニウムは、共晶アルミニウムである、請求項 1 に記載のロータリーバルブ内燃エンジン。

【請求項 4】

バルブボディとバルブハウジングの一方又は両方の接触面が硬化表面を備えている、請求項 1 に記載のロータリーバルブ内燃エンジン。

【請求項 5】

硬化表面は、陽極酸化アルミニウム、セラミック若しくはシリコンカーバイドコーティング、ダイヤモンドライクカーボンコーティング、又は、プラズマ窒化表面である、請求項 4 に記載のロータリーバルブ内燃エンジン。

【請求項 6】

バルブのポートは、燃焼室に隣接するバルブボディの壁部の下側周縁部に形成された凹

部であり、該凹部は、バルブの側部にポートを形成するようにバルブの壁部の下側周縁部から上方に延びている、請求項 1 ～ 5 のいずれか に記載のロータリーバルブ内燃エンジン。

【請求項 7】

バルブ内のポートは、バルブボディの壁部内の孔であり、該壁部は、燃焼室に隣接してポートの下に形成されたリップを有する、請求項 1 ～ 6 のいずれか に記載のロータリーバルブ内燃エンジン。